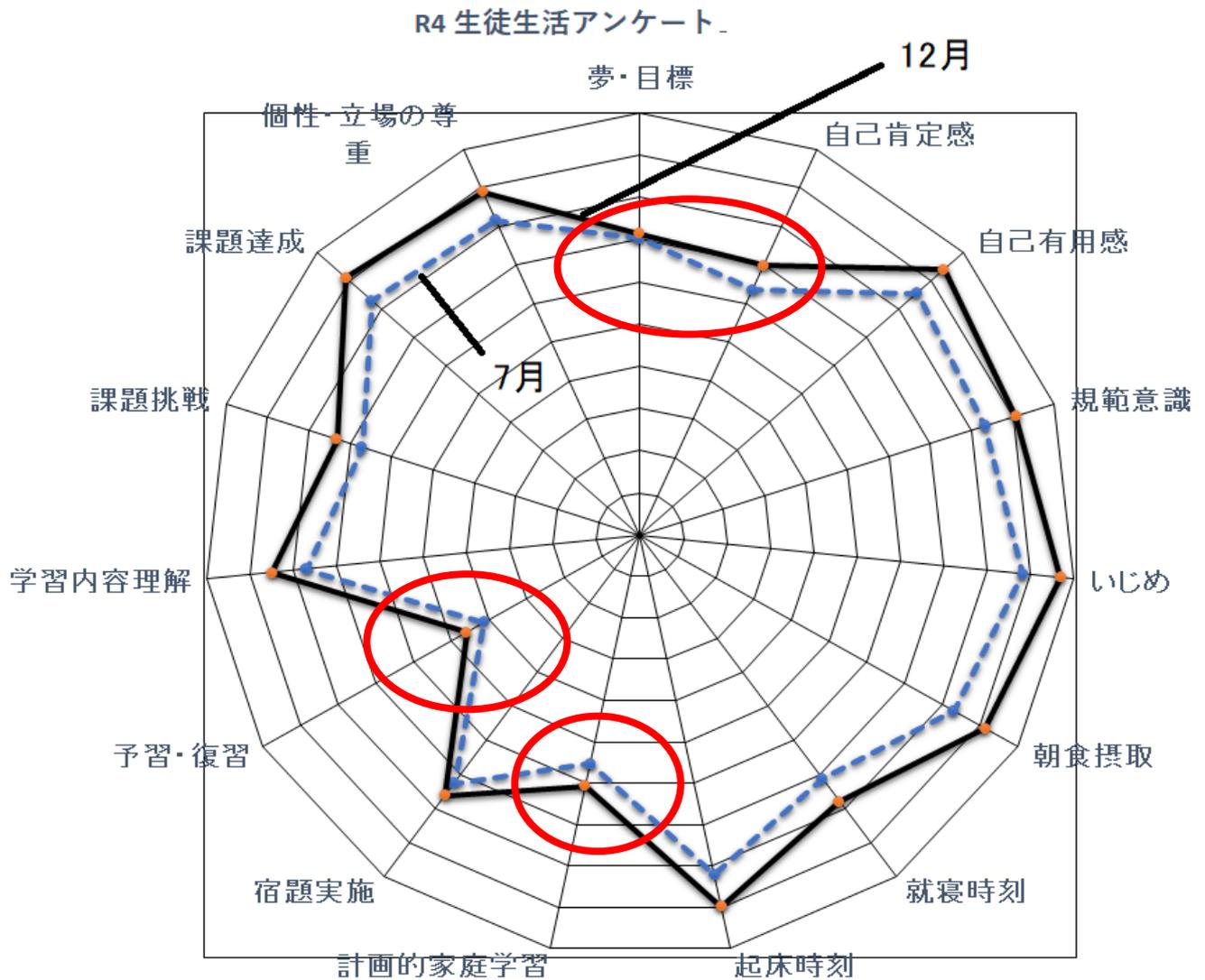




◇令和4年度 生徒アンケート（意識調査より）

下のグラフは、令和4年度1学期末（7月）と2学期末（12月）に実施した生徒アンケート（意識調査）の結果です。質問項目に対して、「Aよくあてはまる・Bあてはまる・Cあまりあてはまらない・Dあてはまらない」の回答から「A+B」（肯定的な回答）の割合（%）を表したものです。（実線は、12月、点線は7月）



<質問項目>

- ①将来の夢や目標をもっている（夢・目標）
- ②自分には、よいところがあると思う（自己肯定感）
- ③人の役に立つ人間になりたいと思う（自己有用感）
- ④学校のきまりを守っている（規範意識）

- ⑤いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う (いじめ)
- ⑥朝食を毎日食べている (朝食摂取) ⑦毎日、同じくらいの時刻に寝ている (就寝時刻)
- ⑧毎日、同じくらいの時刻に起きている (起床時刻)
- ⑨家で、自分で計画を立てて勉強をしている (計画的な家庭学習)
- ⑩家で、学校の宿題をしている (宿題実施)
- ⑪家で、学校の授業の予習・復習をしている (予習・復習) ⑫授業の内容がわかる (学習内容理解)
- ⑬難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦している (課題挑戦)
- ⑭ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある (課題達成)
- ⑮友だちと話し合うとき、自分と違う立場や考え方の意見を尊重することができた (個性、立場の尊重)

結果から1学期に比べ2学期は肯定的に答える生徒の割合が全体的に高くなっています。また、今後育んでほしい力として、以下の3つが挙げられます。

- 目標や夢をもつ。
- 自分に自信をもつ。
- 主体的に学びに向かう意識を高める。

特に、「主体的に学びに向かう力」の向上を目指して、「行動目標」を設定する習慣を身に付けてほしいと思っています。学力を高めたいという目標をもった場合、テストの点数など「結果」を求めると挫折してしまうこともあります。そこで、例えば「毎日30分学習する」など自分の力、意志で達成できる目標を設定してください。これが「行動目標」です。テストの点数など「結果」は、自分の力だけでは変えることができませんが、「行動目標」は自分の意志や努力で達成することができます。まずは、「行動目標」を立て、達成したらスモールステップで少し上の目標に挑戦していきましょう。この少しの進歩が自分の自信に繋がると思います。

また、「自分に自信がもてる」ようになるためにもポジティブな考え方が必要だと思います。サッカーワールドカップ日本代表「長友佑都」選手が、実践したネガティブな気持ちをポジティブにする3つのテクニックを紹介します。

- 未来から今の自分を見る。
- ミスをしたときは、WHY (なぜ) ではなく HOW (どのように) と考える。
- 常に感謝する。

- ・ネガティブな気持ちを立て直すには自分を未来から見るようにして下さい。未来の自分を想像して、今やるべきことを決めると、短所が改善されるそうです。長友選手は、走れなかった時期、サッカー部と駅伝部をかけもちし、走り込むことで自分の短所を改善したそうです。
- ・何故ミスしたかを考えるとネガティブになりがちですが、どうやったら改善できるか、成長できるかを考えると前向きになることができます。
- ・「感謝」の反対は「当たり前」です。今ある環境を当たり前と思わず、また、逆境であっても常に感謝する心をもつことで前向きになれる。このことから、長友選手は批判的な意見も成長するためにあえて見るようにしているそうです。「是非、試してみましよう。」

◆【各種大会 表彰伝達】

1月14日(土)	【第40回全能登中学校交歓バスケットボール田鶴浜大会】
15日(日)	男子2位 女子 優勝
1月29日(日)	【第7回いしかわ吹奏楽コンクール(新人)】 銀賞

※お知らせ 3月10日(金)9時～ 卒業式

3月15日(水)～17日(金)2学年修学旅行(予定)

【七尾市教育委員会からのお知らせ】～親と子のなんでも電話相談室～

Let's call.. オアシスライン

TEL 0767-52-0783 受付時間: 13:00～16:00(月曜～金曜)

相談内容: 悩んでいること、困っていること*匿名でのお電話で構いません。

秘密は守ります。～オアシスライン担当～

